

野田毅衆議院議員と漁業者団体との意見交換会（開催）

日 時 令和3年1月4日(月) 14時30分から
場 所 熊本県漁連 会議室
出席者 衆議院議員 野田毅氏
県漁連 藤森会長、橋本副会長、吉本代表監事
県漁業共済組合 浜口組合長

定刻より会が開始され、冒頭藤森会長より、直近の八代海の令和2年7月豪雨災害からの迅速な復旧対応を始め本県の抱える様々な課題や問題解消に平素より多大なるご尽力を賜っていることについて感謝の意が述べられ、

野田代議士からは、近況として、有明海四県漁連・漁協及び四県行政が有明海・八代海の再生事業実施に不可欠として共同で要望した『有明海・八代海等再生特措法に規定する特定事業に係る経費に対する国の補助率嵩上げ期間及び公害財特法の延長』について、公害財特法が来年3月で失効する可能性が高いことを踏まえ、失効してもこれまで同様の再生事業が行えるよう公害財特法に定める地方財政特別措置に関する規定を有八特措法に新設する方針で進めている旨と野田代議士の提案により『国交省管轄の港湾でも水産庁所管の漁港（有八特措法は水産庁所管）との同等の対応が可能となるよう省庁間で前向きな調整を行わせている』旨の報告が行われ意見交換に入りました。

意見交換では、漁港・漁場の環境問題、ヘドロの浚渫及び関連課題、二枚貝や海苔に対するカモ、チヌ等による食害被害、海底耕耘などの実証事業に係る現状など漁業者の抱える多くの課題や実状について活発な質疑応答と野田代議士からあらゆる要望に対する力強い支援を頂き、大変有意義な会となりました。

【 意見交換会風景 】



以上